

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託を開始させていただくこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■新規受託開始項目および実施日

【実施日】 2022年 3月 31日(木) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	提出量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
4411	尿中コルチゾール	蓄尿 5.0	J	冷蔵	4~8	127 生Ⅱ ※	CLIA	4.3~176 ($\mu\text{g/day}$)	酸性蓄尿不可 蓄尿量を記入して下さい。 非抱合型コルチゾールの 測定となります。 ⑫&ウ

※令和4年度診療報酬改定により4月1日より実施料は124点へ変更となります。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、
または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● 尿中コルチゾール

下垂体から分泌される ACTH の刺激を受けて、副腎皮質束状層より分泌される分子量 362.5 の糖質コルチコイドで ACTH との間にフィードバック関係がある。血中の 90%以上が蛋白との結合型として存在し副腎、肝、腎で代謝を受け、グルクロン酸抱合を受けて、尿中に排泄される。血中半減期は、1.4～3 時間と言われている。

副腎皮質機能を知るために行う検査で、原発性(副腎性)、続発性(視床下部性または下垂体性)を含めた副腎皮質機能不全症や、コルチゾール過剰症であるクッシング症候群の診断の指標として有用である。

▼疾患との関連

クッシング症候群、グルココルチコイド不応症
甲状腺機能亢進症(肥満、妊娠後期)
ACTH 単独欠損症、ACTH 不応症、Addison 病
下垂体機能低下症、原発性副腎皮質機能低下症
先天性副腎皮質過形成、続発性副腎皮質機能低下症
慢性腎不全

▼関連する主な検査項目

3310 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)

●参考文献

関口昌江, 他: 医学と薬学 69(6):985～991, 2013. (検査方法参考文献)

田中孝司: 日本臨牀 53(増):437～440, 1995. (臨床的意義参考文献)